

領域	領域の目標	領域の内容	各学年の内容		
			中学校1年	中学校2年	中学校3年
福祉	高齢者や障害者を含めた社会の一人一人が自立しつつ、年齢や性別にかかわらず、お互いに助け合いながら、多様な価値観に基づく自己実現を図ったり、心の豊かさを実感しつつ、生きがいをもって生きていける社会の実現に取り組もうとする資質や能力を育てること	ア 他者を尊重する態度や尊敬する気持ち、他人を思いやる気持ちなどの豊かな人間性を育てること イ 高齢化社会の特質や問題点などについての理解を深め、介護や福祉の問題などについての考えを深めること ウ よりよい福祉社会実現に向けて進んで行動する態度を育てること	ア (ア) 地域の人々との交流や体験活動を通して、高齢者や障害者などを正しく理解することができる。 (イ) お互いを認め合い、年少者や障害者を尊重する態度や高齢者を尊敬する気持ち、相手を思いやる気持ちをもって生活することができる。 イ (ア) 高齢者や障害者などの理解を通して、現代社会の福祉に関わる現状と問題点についてとらえることができる。 (イ) ボランティア活動等の体験を通して福祉に対する認識を深めることができる。 ウ 地域の人々との交流やボランティア活動などの体験活動を通して学んだことを生かして、身近な福祉問題で解決できることやよりよい福祉社会の実現に向けて自分にできることを考えて実践する。	ア だれもが障害をもつ可能性があり、高齢者になることを前提に、高齢者や障害のある人々は特別な存在ではないし、その人格が尊ばれ、一般の社会の中に普通に参加し、平等に生きる権利があることを認識する。 イ ボランティア活動等の体験を通して、様々な福祉にかかわる問題を認識し福祉政策や社会的諸サービスが対等の生活原理であることが理解できる。 ウ 福祉にかかわる様々な問題について、日本と諸外国との取組とを比較したり、福祉政策の問題点について分析したりして、考えをまとめ、自ら進んで行動したり、提言として発信していったりする。	
職業・進路	職業の価値や大切さ、労働の意義についての理解を深めて、自己の適性や将来について考え、個性豊かによりよく生きていくことのできる資質や能力を育てること	ア 職業の価値や大切さ、労働の意義についての理解を深めること イ 自己の適性や将来についての考えを深めること ウ 将来に向けて個性豊かによりよく生きていくこととする態度を育てること	ア 地域の人々との交流や職業調べ、職場体験を通して、働くことの喜びや厳しさ、働く人たちの仕事に対する思いや責任感に触れ、労働の意義について考える。 イ 地域の人々との交流や福祉活動、職業調べ、職場体験を通して、自己を振り返り自己の適性や将来の希望を考えることができる。 ウ 自己の適性や将来の希望に向けて、自己を生かしながら今の自分にできることを考え行動できるようにする。	ア 職業調べや職場体験等を通して、職場には性差や制度などによる様々な問題点のあることを論理的に理解する。 イ 職業調べや職場体験などを通して、学んだ知識をもとに自己の職業観を振り返り、将来に向けて考える。 ウ 現代や将来を真剣に考え、様々な社会参加の在り方や生き方の選択肢があること、生きがいをもって充実した人生を送ることの意味などを考え行動できるようにする。	
国際理解	国際化の進展に対処できるように、日本や世界の国々の歴史や文化に関心をもち、相互理解・相互交流を通して、世界の人々を尊重し国際社会の一員としてともに生きていくことができる資質や能力を育てること	ア 他国の文化への理解及び他国の文化を尊重する態度を育てること イ 国際社会の一員として、世界の人々と共生していく資質や能力を育てること ウ 地域や我が国の歴史や伝統文化等の理解をするとともに自己を確立すること エ 外国語によるコミュニケーション能力を育てること	ア (ア) 他国の歴史や文化、社会の仕組みなどへの関心を高める。 (イ) 様々な国との共通性や差異を理解し、尊重しようとする。 イ 様々な国々の人々と交流し、互いのよさを認め合い協調し活動しようとする。 ウ 地域や我が国の歴史や文化、社会の仕組みのよさを理解する体験を通して、日本人としての自覚を持ち、自己の在り方を考えようとする。 エ 外国語によるコミュニケーションを積極的に取り組もうとする。	ア 他国の歴史や文化、伝統を包括的・体系的に理解し尊重しようとする。 イ 様々な国の人々と積極的に交流し、交際親善に努めようとする。 ウ 国際社会の一員として、日本や日本人の役割について考えようとする。 エ 外国語で意思の疎通ができるようにする。	
環境	身近な自然との関わりを通して自然の持つ豊かさや大切さに気づき、人と環境の関わりについての理解を深め、広い視野で自分のできることを考え、自然と共生するために環境保全やよりよい環境を創造する資質や能力を育てること	ア 体験活動を通して、自然に対する感受性や環境に対する関心を育てること イ 環境問題と社会経済の在り方や生活様式とのかかわりについての理解を深めること ウ 環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な資質や能力、態度を育てること	ア 地域の人々との交流や体験活動を通して、地域の自然環境や職場環境、学習環境、高齢者や障害者が住む町的环境等について関心をもつことができる。 イ 地域の自然環境の現状と問題や職場環境、学習環境、高齢者や障害者の住む生活環境の現状と問題に気づき、人々の責任や役割について理解し、よりよい環境について考える。 ウ 地域の自然環境の保全や職場環境、学習環境の問題と改善、高齢者や障害者が自由に生活できる生活環境の創造について、今の自分にできることを考え行動できるようにする。	ア 地域規模・地球規模の環境問題、自然破壊などを多様な視点から科学的に分析し、産業と自然環境とのあるべき姿について関心をもち、考えることができる。 イ 人間と環境との関連性を幅広くとらえる中で諸矛盾を見だし、人間の責任や役割について理解し、よりよい自然との共生について考える。 ウ 環境問題の解決やよりよい環境の創造のための取組とそれの伴う諸矛盾に気づき、将来に向けてどのように行動していくことがよいかを考え、今の自分にできることを日常の中で行うことができる。	
地域	家庭や地域社会、学級や学校における生活上の諸問題について理解を深めるとともに、自他を尊重しつつ、学級・学校・地域社会の一員としてよりよい民主的な生活の実現に意欲的、協力的に取り組もうとする資質や能力を育てること	ア 家庭や地域の伝統・文化・行事・生活習慣・政治・経済・産業などの現状や問題点についての理解を深めることや学級・学校の行事、学級や学校で生じる生活上の問題などの特質や背景についての理解を深めること イ 学級・学校、家庭や地域社会の構成員の一人として、その現状や問題点について解決・進展に努める資質や能力を育てること	ア 地域や生活上の問題について地域の専門家や様々な立場の人の意見を聞いたり、客観的、科学的にとらえたりして解決の方向性を探る。 イ 地域社会を構成する一員としての自覚と誇りを持ち、他と協力してよりよい郷土の創造を目指した取組を行う。	ア 地域社会の現状や問題点を政治、経済、産業など、多面的、多角的な視点でとらえ、分析・判断し、解決しようとする。 イ 地域社会を構成する一員としての自覚と誇りを持ち、自他を尊重しつつ、よりよい社会の実現を目指して、その発展に尽くそうとする。	